

議題（５）オレンジゆずるバス再編検討分科会について

1. オレンジゆずるバス再編検討分科会について

●第1回オレンジゆずるバス再編検討分科会

◆開催概要

- ・日 時：令和4年7月21日（木）13時～16時
- ・場 所：箕面市総合保健福祉センター（ライフプラザ）2階大会議室
- ・出席者：40名（8人/班の5班に分かれて議論）

◆検討テーマ及び結果

・【テーマ1】オレンジゆずるバスのコンセプトを考えよう

→各班の議論から抽出した要素は以下のとおり。

地域

- ・地域住民がバックアップして盛り上げる！地域を巻き込む！
- ・地域の魅力を発掘・発信、地域に愛されるバス
- ・地域に寄り添った便利なバス
- ・地域で支えるオレンジゆずるバス

身近

- ・いつでも気軽に乗れるバス
- ・身近なところにあって、行きたいところに行けるバス
- ・快適な乗り継ぎ・連携・情報サービス

安心

- ・誰でも「使いやすい」オレンジゆずるバスへ
- ・居心地の良い、誰もが安心して乗れるバス
- ・人に優しいオレンジゆずるバス

・【テーマ2】ルート再編の方向性について考えてみよう

→現在のルートのように地域を跨いで大回りするルート（以下、循環型路線）と基幹路線（軸）を中心として枝分かれするルート（以下、基幹型路線）のどちらがいいかを議論。

→各班の意見は以下のとおり。

- A班：坂の多い地域は基幹型路線で運行頻度を高くし、それ以外の地域は現在と同様大回りするルートが良い。
- B班：主要な場所（箕面駅・箕面市役所・市立病院・箕面萱野駅）へはどのルートでも接続してほしい。
- C班：箕面市を数地区に分割し、かやの中央を起点としてより狭い範囲で循環することで、便数を向上させる。
- D班：基幹路線（軸）を中心として枝分かれするルートが良い。
- E班：如意谷地区、栗生間谷地区からは直接市立病院へ行きたい。それ以外の地域は短いルートで回す。

●第2回オレンジゆずるバス再編検討分科会

◆開催概要

- ・日 時：令和4年8月16日（火）13時～16時
- ・場 所：箕面文化・交流センター（サンプラザ）8階大会議室
- ・参加者：35名（7人/班の5班に分かれて議論）

◆検討テーマ及び結果

・【テーマ1】コンセプトの決定

- 第1回分科会にて抽出された要素から、事務局にてコンセプト案を複数提示し、委員全体で意見交換。
- 意見交換の結果、コンセプトは「みんなが気軽に乗れて安心な、地域に愛されるバス」をベースとし、事務局にて整理し、第3回分科会において決定することとなった。

・【テーマ2】再編ルート案の検討

- 再編ルート案について、循環型、基幹型、複合型の3つの路線形態について議論を実施。
- 議論の結果、路線形態については、循環型路線とすることが決定。また、循環型路線のルート案について意見交換を行った。

●今後の分科会スケジュール

- ・参考資料⑤のとおり

2. 各種調査結果概要について

(1) OD調査

- ・調査日：7月3日（日）…日・祝ルート
7月5日（火）…月～土ルート
- ・調査対象：オレンジゆずるバスの全路線、全便
- ・調査方法：バス利用者に対して、乗車時に調査票を配布する。
乗車中に調査票の質問に回答してもらい、降車時に回収する。
- ・調査項目：利用区間、時間帯、年齢、利用目的、乗り継ぎ状況
- ・総利用者数：1,458人
日・祝ルート { 紫ルート 65人、緑ルート 40人
月～土ルート { 青ルート 429人、赤ルート 525人
黄ルート 399人

(2) 利用者アンケート調査

- ・調査日：7月3日（日）…日・祝ルート
7月5日（火）…月～土ルート
※7月15日（金）を〆切として回収を行った。
- ・調査対象：オレンジゆずるバスの利用者
- ・調査方法：OD調査配布時に合わせて利用者アンケート調査票と返信用封筒を配布し、後日郵送にて回収する。
- ・調査項目：普段のオレンジゆずるバスの利用状況
調査票を受け取った日の利用について
オレンジゆずるバスに感じていること など
- ・回答率：48.8%（配布数 946通、回収数 462通）
- ・傾向：バス利用者は高齢者が大半を占めており、65歳以上の利用者の割合が、月～土ルートで76.4%、日祝ルートで84.3%であった。

(3) 市民アンケート調査

- ・調査日：7月6日～7月15日
- ・調査対象：令和4年4月現在、箕面市内に在住の16歳以上のかた2,000人（無作為抽出）
- ・調査方法：無作為抽出した市民に対して、アンケート調査票と返信用封筒を郵送し、後日郵送にて回収する
- ・調査項目：日常の外出などにおける公共交通の利用について など
- ・回答率：43.6%（配布数 2,000通、回収数 872通）
- ・傾向：外出における移動手段について、徒歩、自転車、自家用車の割合が高く、公共交通の利用が少ない。
公共交通（バス）の満足度については、「満足」「やや満足」が55.8%、「不満」「やや不満」が42.4%となっており、外出における公共交通の利用が少ないながらも、半数以上のかたに満足いただいている。

3. 各種調査結果について

- ・参考資料⑥のとおり